

**TMEiC技術論文が、全米鉄鋼技術協会(AIST)のAISTech2024技術会議で表彰
- 日本企業初の最優秀賞「Best Paper Award」を受賞 -**

株式会社 TMEiC(以下、TMEiC)(社長:川口 章)は、昨年発表した技術論文”Development of Tandem Steering Control in Hot Strip Mill”において、全米鉄鋼技術協会(AIST)*1 主催の AISTech2024 技術会議で、最優秀賞となる「Best Paper Award」を受賞しました。本受賞は日本企業として初めての受賞です。

2007年に同会議の熱間圧延技術委員会(Hot Sheet Rolling Technology Committee)にて創設された「Best Paper Award」は、年間を通じて1件の最優秀論文が選考されるもので、本論文は産業・エネルギーシステム第二事業部の高木 山河、上野 聡、塚本 達也の3名によって執筆されました。

本論文は、熱間圧延ラインの操業不安定現象である蛇行現象*2について、シミュレータの開発を通じて複雑な現象のメカニズムを明らかにし、将来的な自動操業技術へと繋がる蛇行制御技術の実用化についてまとめたものであり、TMEiCの高い制御とシミュレーションの技術力が評価されました。



2024年5月に米国・コロンバスで開催された授与式
(中央左:高木 山河、中央右:塚本 達也)



「Best Paper Award」の楯

TMEiC は、本論文で述べた熱間圧延ラインの蛇行制御技術を市場投入しています。今後、更なる技術力の向上を図り、様々な現場での安定操業に貢献する高品質な製品の提供を目指していきます。

産業・エネルギーシステム第二事業部 高木 山河 コメント

「蛇行制御技術は、近年研究開発が活発な分野であり、今回の受賞はTMEICの技術力を示す結果となりました。これは、お客様をはじめ、社内外の関係者の皆様との挑戦と努力の賜物です。今後も、更に先進的な技術開発に努め、お客様に貢献する製品の提供を目指します。」

*1 AIST(Association for Iron & Steel Technology): 米国に本部を持ち、世界 70 カ国以上に 16,600 人以上の会員を擁する。

AIST ホームページ: <https://www.aist.org/>

*2 蛇行現象: 熱間圧延において、鋼板先尾端部が圧延機を抜ける際に蛇行する現象。後続の圧延機に入る際に、鋼板ガイドと接触し、折れ込んだ状態になって圧延される「絞り込み」と呼ばれる状態になる場合がある。

報道関係からのお問い合わせ先

株式会社TMEIC 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレーターとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。